

未来のつばさ

第2回 セカイヒロイノタビ[®]連載中!



INDEX

- P.2 ● 新理事長着任の挨拶
● 2018年度
「未来のつばさ自立奨学支援制度」
応募者アンケート調査のご報告
- P.3 連載第2回
セカイ ヒロイ ノ タビ「星とネーコの巻」
- P.4 子ども達からの感謝のメッセージ
未来へはばたく子ども達
- P.6 プロジェクト支援事業
2019年度の支援状況をご報告します!
- P.7 財団トピックス
平成31年度の新役員・評議員が選任されました。

Vol. 28
2019.冬

新理事長着任の挨拶

本年6月、楽天 未来のつばさの理事長を拝命した青木晴樹と申します。前任の野口修作氏(現専務理事)より重責を引き継ぎ、これまでの確かな歩みとともにその使命の重さを感じつつも、当財団の存在意義を果たすべく、しっかりと業務運営を行ってまいりますので、変わらぬご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

さて、楽天 未来のつばさは、社会的養護を必要とする子どもの自立への一助となり、子ども達の夢と希望を守り、誰かのために役立つとする勇気を支え、感謝の気持ちを持ち続ける強い心を応援する支援事業を目指し、児童福祉の充実と向上に寄与することを目的としております。この観点から、2019年度においても、困難を抱えた子ども達への自立奨学支援資金の提供事業を中核とした事業計画を策定し、確実に実行してまいります。多くの子ども達がこの資金提

供事業に期待しており、自立支援を継続していくことが肝要と考えている次第です。同様に、子どもの権利擁護と自立支援に最善の利益を与える団体活動に対しても、支援を行ってまいります。こちらは今年で6年目となり、当財団における大きな柱の一つに成長してきました。

とはいえ、まだまだ子ども達への支援は十分なものとはいえません。より多くの賛同者、協力者を得ることで支援活動を継続していきたいと願っております。皆さまのご協力、ご支援をお願いいたします。

公益財団法人 楽天 未来のつばさ
理事長 青木 晴樹



2018年度「未来のつばさ自立奨学支援制度」 応募者アンケート調査のご報告

2016年度より社会的養護環境下の子ども達の側面を数値的に捉える試みから応募者の皆さんへアンケートのご協力をお願い致しております。出来るだけお手を煩わすことのないようにシンプルに回答しやすくを念頭に実施いたしておりますが、6項目の主要質問と18項目の関連質問からなり、回答を進路別、施設別、男女別に区分集計し「基礎資料編」といたしております。

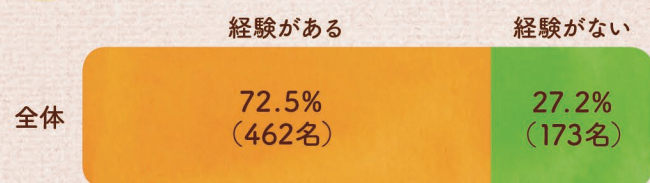
資料編は一般の方には数値の羅列で理解に時間がかかることを考慮し、昨年から「分析データ編」として年度ごとにテーマを決めてシンプルにまとめてみました。昨年は「現在の悩み」と「卒業後の不安」をテーマにいたしました。本年は「ボランティア」と「アルバイト」を取り上げました。ボランティアは助け合い、社会的貢献を動機とし、アルバイトは生活の資金作りと動機は違いますが、それぞれ貴重な自分の時間を切り出す行為です。

その行為を18歳の子ども達がどの様に考え、実行しているかご覧ください。

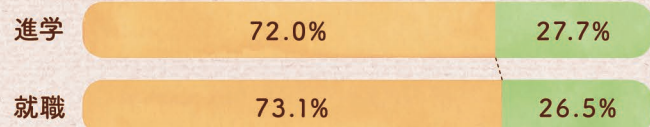
● 調査対象者

全体	進路別		施設別		男女別	
調査対象者	進学	就職	施設	里親	男子	女子
637名	328名	309名	521名	116名	291名	346名

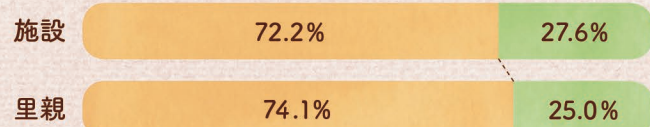
Q1 ボランティアの経験はありますか？



進路種別



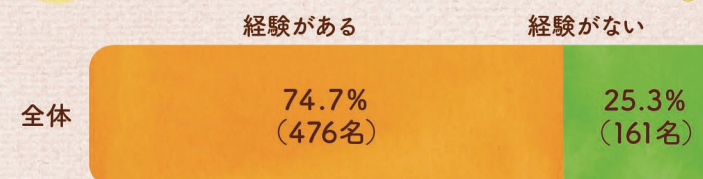
施設種別



男女別



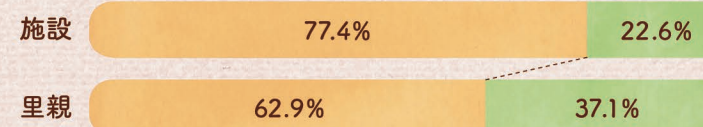
Q2 アルバイトの経験はありますか？



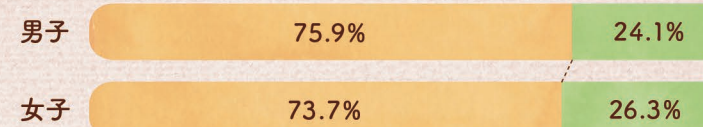
進路種別



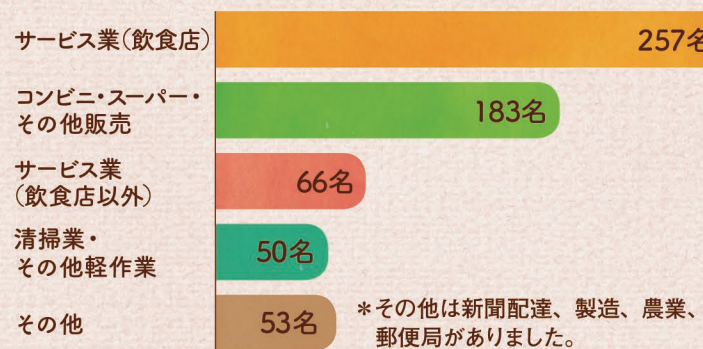
施設種別



男女別



Q3 Q2で「はい」のかたは、どのようなアルバイトですか？(複数回答可)



ボランティアの経験は、昨年と本年度は72%を超えました。一昨年から被害は台風、大雨水害が多く被災地も日本のほとんど全ての地域が被災地となりました。自分の住む町、地域が被災地となり助け合いが身近になってきた事が一つの要因と思われます。18歳の子ども達が自らボランティアを実行する数値は心強く感じます。アルバイトの経験は、3年平均で75%に近い「経験あり」が回答されました。高数値と思われる。職種は毎年「サービス業(飲食店)」、「コンビニ・スーパー」が大半を占めます。資格なしで短時間可能なアルバイトは高校生に最適でしょう。進学予定の子ども達が進学後のアルバイト収入を76,500円と計画しています。時給単価を950円として毎月80時間の労働です。勉強との両立が問題となります。

セカイのヒーローノゾビ

星とネコの巻



小さな声も小さな音もいつも存在してるんだね。華やかな場所では聴こえないだけで。ね、ネコ？

特集

未来へはばたく子ども達

施設等を巣立っていった子ども達が、社会へ出てみて実感したその厳しさや楽しさ、また、多くの人に支えられているという現実について、感謝の気持ちを込め近況を届けてくれました。

学業とアルバイトの両立を頑張っています

● 社会福祉士をめざしている女の子

現在は夏休み中で、後期の授業料や一人暮らしに向けての貯蓄のためにアルバイトを頑張っています。前期では、高校生活とは違うカリキュラムについていけるか不安もありましたが、サークルに入り、友達ができたことや、福祉の知識や技術が身についていると感じる瞬間があり、なんとか前期を無事に終えることができました。サークルでは、母子支援施設でのボランティア活動を行いました。日々の講義とは違い、直接子どもとそのお母さんに関わることで、支援の難しさを学ぶことができました。そして、後期では大学の敷地内にある高齢者施設に実習に行きます。自分自身今まで高齢者の方と関わる機会が少なく、どのように関わったら良いかなど不安はありますが、頑張りたいと思います。日々、学業とアルバイトの両立で大変ですが、将来の夢を叶えるため、これからも頑張っていきます。



担当職員より

長年の夢であった大学への進学の実現、毎日楽しく勉強に励んでいると聞いています。アルバイト先では、人間関係に悩みながらも、自分なりにどのように関わっていけばよいか考えながら働いているようです。新しい住環境や友人関係、アルバイト先での悩みを在籍していた施設に相談することができており退居後も関わり続けています。

施設職員・里親からのメッセージ

新たな生活を送って

私自身高校生の時、児童養護施設で生活しており、未来のつばさ様からのご支援をいただいた一人です。温かいご支援があって、現在夢だった保育士になり、やりたい仕事をさせてもらっています。退所したすべての子ども達の夢が叶うことを先輩として願っています。

羽ばたいていった皆さまへ 「未来のつばさ」 —あなたはひとりじゃない—

財団では、近況報告を提出していただいたみなさんに、～「未来のつばさナビ」～をお送りしています。

いる皆さまへ

施設を退所して新しい生活はいかがですか？楽しいこと、うれしいこと、苦しいこと、いろんなことがこの数ヶ月の間でもあったと思いますが、まだまだこれからです。たくさんのことを体験し、その一つ一つが自分の生きていく力としていってください。期待しています。

ナビ

ぜひ読んでね!



仕事で忙しい日々ですが、充実しています

● 工場勤務で寮生活をしている男の子

僕は就職してから3か月の研修を行い、7月から現場入りし、今は三交代制で仕事をしています。初めて夜勤に入った日は眠気がすごくて起きるのが一杯でしたが、今ではあまり眠気がさすこともなく仕事に一所懸命取り組んでいます。工場で働いていますが、仕事の流れを覚えるのがすごく大変です。今は1日1つでも多く作業を覚えらるるようひたすらメモを取り頭に入れていきます。また現場はすごく暑く、そんな中で作業をするのは大変ですが、現場の方と指導員のおかげで楽しく働いています。また会社の寮では、会社で知り合った仲間と仲良く楽しんでいます。また管理人さんとも仲良くできています。仕事がすごく大変で忙しい日々ですが、それでも楽しく仕事できていますし、寮は寮で充実しているので、今はとても楽しいです。この調子でこれからも楽しく仕事をしていきたいです。

児童指導員より

新しく住む場所、働く場所で、新しい仲間たちと仲良くやっていることを報告を受けました。苦しくて辛いこともあるが、一緒にいる仲間が相談にのってくれたり、たまに施設に遊びにきて職員や園生としゃべったり、一緒にスポーツすることで頑張れる!!と話していました。失敗してもあきらめず、くさらず、周りの人へ相談しながら乗り越えていって欲しいと伝えるのが分かってる」と力強く応えていました。



毎日家計簿をつけて貯金をしています

● 貯金をして車を購入した女の子

生活状況についてですが、最近は一暮らしにもだいぶ慣れ、効率的に時間を使えるようになりました。生活資金等についても経済的な面で困らないように毎日家計簿をつけ、考えながら使うことで、多少ですが毎日コツコツと貯金をすることができています。無事に車を買うことができ、一般的な普通の生活が送れていることを嬉しく思います。今の私の目標は家事と仕事を両立させることです。一人暮らしを始める前は自炊をしたいという思いがあったのですが、実際にしてみると残業があったりしてなかなかできていないのが現状です。なので仕事にも早く慣れ、自炊をし、健康的な生活が送れるようにしたいです。



グループリーダーより

定期的に家庭訪問を実施し、生活の様子をみて困ったことはないか話を聞いています。金銭的な余裕はまだありませんが、家計簿をつけやりくりをして、少しずつ貯金ができるようになってきました。自炊も行い食材も余らせないよう工夫しているようです。仕事は保険関係で覚える内容やお客様の対応が難しく、苦慮するところが多いですが、職場の仲間とスポーツをしたり、食事に行き、人間関係は良好なようです。頑張り過ぎて体調を崩すこともあるので、今後も連絡を取りながらサポートしていきたいと思っています。

将来の夢のためにしっかり学んでいきたい

● 警察官になるために勉強を頑張っている男の子

施設を卒園してから一人暮らしをして4ヶ月が経ちます。大学では法学を学んでおり、将来は警察官になりたいと思っています。将来の夢を叶えるためにもしっかりと単位を取得して1年生のうちから公務員の勉強もしていきたいです。また、施設で小学1年生のころからやっている剣道を、大学の部活でも続けることができレギュラーに入ることができました。部費や遠征代は自分で払わないといけないので、バイトも積極的に参加しています。家賃、携帯代、光熱費、食事代も自分で払わないといけないので、これからもバイトもしっかりと参加していきたいです。これからも自立を目指して支えてくださる人の存在があってここにいる事を忘れることなく、日々を過ごしていきたいと思っています。

児童指導員より

学業に部活動にアルバイトを両立させ、必死に頑張っているようです。しかし、大会は県外のものも多く、遠征費など出費もかさんでいるよう。そこを、アルバイトにほとんど毎日入ることで補っているようです。日々、アルバイトに追われている中、それでもやってくるテストや課題レポート。大変な毎日の様ですが、本人は充実した時間を過ごせていると話してくれました。今後、学年が上がるにつれモチベーションが下がることもあると思いますが、頑張りたいと思います。



2019年度前期支援団体

前期(4月~5月受付)分の一部の支援状況をご報告いたします。
後期は、1プロジェクトにつき上限30万円の支援、当年度実施プロジェクトが対象でした。

2019年度前期支援プロジェクト一覧

No.	団体名	プロジェクト名
1	社会福祉法人 新日本学園	児童養護施設で暮らす子どもの生活安全感・安心感向上のためのプロジェクト
2	大阪府里親会 里親子支援機関 えがお	里親家庭サポート事業
3	社会福祉法人 共栄福祉会 福祉型障がい児入所施設 若久緑園	子どもたちよ、仲間と共に富士山頂をめざそう!
4	特定非営利活動法人 セイブアライフ	児童養護施設のこどもに、夢実現のための寄り添い・学習支援
5	一般財団法人 教育支援グローバル基金	ビヨントゥモロー エンデバー2019 サマーリトリート 児童養護施設に暮らす高校生を対象としたキャリアサポートプログラム
6	ガリレオクラブインターナショナル	光あふるるマジックショーとマジック教室

プロジェクトの一部をご紹介します。

児童養護施設の子どもに、 夢実現のための寄り添い・学習支援

当法人スタッフが調整役となって、宮城県内児童養護施設の子どもに、学生・社会人ボランティアが学習と相談の支援に入っています。学生は14名(在仙4大学)が参加し、中高生を中心に1:1対応で、来春までに延べ140回を予定しています。

対応の難しい子どもは、気持ちの安定と社会性を見ながら、個別に基礎学力・学習の方向・夢形成に関わるものを探っています。また、高校進路部の経験者が、施設に赴き、資格や職業業界動向・少ない負担の進学や寮制度などの紹介と相談に対応します。

児童養護施設への学生支援の組織化も視野に入れております。また、カンボジア・ケニアのNGO孤児院の女性代表(日本人)を仙台に招き、子どもの人権の共有を行っております。



子どもたちの
視野を
広げたい!

宮城教育大学の方々

カンボジアHOC孤児院
岩田亮子さん講演

特定非営利活動法人 セイブアライフ

里親家庭サポート事業

今後さらに増えていく里親、そして委託される子どもたちに対して、大阪府里親会と里親子支援機関えがおは里親サポート員(メンター)を派遣し、里親家庭の家事支援、育児支援、養育相談を行うことで里親の育児負担を軽減し、健全な養育環境づくりをサポートしていくことに努めていきます。サポート員を派遣、配置し安定した里親家庭を継続していくことで、里親家庭の不調を防ぎ里親・里子とも安心して安全な場所を確立していくことができます。

里親・里子とも
安心して安全な場所を
確立するために!

大阪府里親会 里親子支援機関 えがお

プロジェクト成果報告書が届きました!

子どもたちよ、 仲間と共に富士山頂をめざそう!

「にほんいち高い山に登り隊」の面々は、このチャレンジ(これまでのプロセスも含め)を通じて、大きな成長を見せてくれました。数日前に日本海側を通過した台風の影響か、気圧変動を感じてのチャレンジとなり、子ども、サポーターとも頭痛に苛まれる状況下でしたが、幸いにして大雨にはならず天気は味方してくれた気がしています。そして、8合目、酸素は地上の6割程度でそれぞれに体調が変化していく中でも弱音を見せずに頂上を目指して歩いて行きました。子ども8名のうち、2名が高山病になりかけてあえなく9合5勺で下山することもありました。必死で8時間かけて8名中6名の子どもたちが登頂成功しました。頂上では全員でカップ麺を食べました。登頂を果たしてみても、ここまで九州の山々に登る中でトレーニングを行い、富士山にチャレンジしたことこそ、大きな価値があったと思えるくらいの子どもの顔でした。そしてサポーターとして活躍していただいたボランティア3名、法人評議員1名、子どもたちを中心におき、富士登山をぞんぶんにサポートしていただきました。リーダーの登山ガイドの状況判断には随分助けられました。このプロジェクトのテーマの「子どもたちの成長が社会をやさしく。富士登山チャレンジの実現へ」を体現する機会となりました。それは福岡空港に戻った時に、迎えにきていただいた多くの方々で横断幕をもって子どもたちを待っていた時のえがお、えがお!!この空気感ほまさしく、「子どもたちの成長が社会をやさしく!」の時間になりました。この体験が子どもたちの自信となり、今後の人生の糧になることを祈るばかりです。



社会福祉法人 共栄福祉会
福祉型障がい児入所施設 若久緑園

2019年度は4月~5月・9月~10月に応募受付をいたしました。地域の少額な活動を対象とする特徴を出し、多くのプロジェクトを受け付けました。

お知らせ

- ❖ 後期(9月~10月受付)分は、審査後決定次第、ホームページ・メールマガジンにてお知らせいたします。内容の詳細は、広報誌次号にて特集予定です!
- ❖ 2020年度のプロジェクト支援事業の実施に関しましては、2020年4月に財団ホームページにて発表いたします。

平成31年度の新役員・評議員が選任されました。

■全役員、評議員、力を合わせて子ども支援事業に尽力いたします。■

● 理事長	青木 晴樹	楽天生命保険株式会社 執行役員
● 専務理事	野口 修作	公益財団法人 楽天 未来のつばさ 常任理事
● 理事	岩ヶ谷 晃久	楽天生命保険株式会社 取締役常務執行役員
● 理事	前田 誠一	NPO法人 神奈川フォスターケアサポートプロジェクト 理事長
● 理事	増沢 高	横浜博萌会 子どもの虹情報研修センター研究部 研究部長
● 理事	吉岡 順元	ビジネステクノクラフツ株式会社 代表取締役社長
● 監事	飯塚 良成	飯塚公認会計士事務所 所長 公認会計・税理士
● 監事	高橋 悠至	オーシャン総合法律事務所 弁護士
● 評議員	市村 元一	一般社団法人ASEAN経済友好協会 理事長
● 評議員	奥田 孝雄	南森町法律事務所 弁護士
● 評議員	尾崎 晴彦	楽天インシュアランスホールディングス株式会社 内部監査部長
● 評議員	杉山 蘭房	楽天生命保険株式会社 執行役員
● 評議員	鷹野 秀征	一般社団法人新興事業創出機構(JEBDA) 理事長
● 評議員	西村 万里子	明治学院大学 法学部 政治学科 教授
● 評議員	羽物 俊樹	スカイライトコンサルティング株式会社 代表取締役

役職別五十音順 2019年6月現在

ホームページをぜひご覧ください

公益財団法人 楽天 未来のつばさ

応募要項や施設の先生・施設を退所した先輩からのメッセージをご紹介します。

楽天未来のつばさ

検索

<https://mirainotsubasa.or.jp/>



公益財団法人
楽天 未来のつばさ

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町16-5 新日本橋長岡ビル4階
電話:03-5642-7890 FAX:03-3249-7870
E-mail:info@mirainotsubasa.or.jp